

ニセコ町スクールミッション**「ニセコスタイルの教育」**

ニセコ町において、子どもへの長期的な支援や学びの連続性の確保等の観点から、校種を越えた学校間の連携により、ニセコで学び、ニセコを愛する子どもを育てる。

ニセコ町コミュニティスクール

ニセコ町が目指す子ども像～ニセコに誇りをもち、たくましく生きる人～「地域で学び、つながりを深める」

ニセコ高校スクールミッション

- ・ニセコ町の地域特性とその価値を十分に生かし、ニセコで学んだことに誇りを持ってたくましく生きる人を育てる。
- ・全国、全世界から多様な人々が集まるニセコ町の教育資源を活かして国際教育や起業家教育を推進し、グローバル社会において複雑化する地域課題を解決することができる国際性や英語力、※アントレプレナーシップを育む。
(※新たな価値やアイデアを生み出し、社会に変化をもたらす力)
- ・国際基準を踏まえた持続可能な地域づくりに関する探究活動を地域とともに実践することにより、相互扶助の精神と住民参加に根ざしたニセコ町のまちづくりの充実に寄与する。

最高目標**シビックプライドを持ったグローバル人材の育成****育てたい生徒像****「シビックプライドを持ったグローバル人材」**

ニセコ町や自分の関心のある地域に対して誇りや深い思い入れを持ち、世界とのつながりを意識しながら、自分の幸福な未来 (well-being) の実現を通して、より良い地域を他者と協働して創造していこうとする自負心を持つ人。

育みたい資質・能力等

- ・好奇心 (興味を持ち夢中になって取り組むことができる)
- ・思考力 (論理的・科学的に考えることができる)
- ・判断力 (情報の真偽や取るべき行動について根拠をもとに判断できる)
- ・協創力 (新たな価値の創造に向けて協働して行動できる)
- ・受容力 (多様な文化・価値観を理解し受容した上でその違いに対応できる)
- ・発信力 (国や地域の伝統・文化に根差した自己を確立し自分の考えを発信できる)
- ・挑戦力 (常識や「こうあるべきもの」という既存の考えから抜け出せる)

学校経営の基本方針**生徒がつくる学校**

生徒が、令和8年度から始まる新しい学校の学びを先取りして取り組み、自らの手で新しい学習環境や学びをつくり出すことで、「自分たちの学校」という意識を高め、学校への誇りや思い入れを深める。

生徒が生き生きと学べる学校

生徒が、安心して高校生活を送ることができるよう、互いに異なる価値観を理解し、尊重し合うことを大切にす。また、生徒一人一人が主体性と自立性を高め、自分たちでより良い高校生活をつくり出す。

生徒がなりたい自分になれる学校

生徒が、各教科・科目の授業において基礎的な知識を身に付けるとともに、課外や家庭での学習に主体的に取り組み、基礎学力の向上とキャリアプランの実現を図る。

生徒が地域から愛される学校

生徒が、コミュニティ・スクールをはじめとする地域の方や企業・団体等と連携した実践的な学びや学校行事等に取り組むとともに、地域の社会経済活動に参加することを通して、地域から愛され応援される存在になる。

学びと生活の支援の重点目標

<学びの支援>～DXによる個別最適・協働的な学びの充実と国際教育・起業家教育の一体的な充実を～ DXによる学びの充実

スタディサプリを活用し、一人ひとりの理解度に応じた個別最適な学びを充実することによって、大学進学に必要な基礎学力と思考力を高める。

ロイノートを導入し、主体的・対話的で協働的な学びを充実することによって、学ぶ意欲と協創力を高める。

国際教育・起業家教育の充実

台中科技大学、麗澤大学、小樽商科大学等と連携し、データやAI等を活用しながら国際基準を踏まえて地域課題を探究し、課題解決する国際教育・起業家教育を実施することによって、国際性や英語力、アントレプレナーシップを高める。

<キャリアの支援>～個別の支援と基礎学力の向上によってキャリアプランの実現を～

全職員による組織的サポート

全ての職員が大学進学を個別に支援する体制を構築することによって、探究や主体的な活動の成果を総合型選抜や推薦型選抜に生かして思考力、発信力、挑戦力を高め、進路希望を実現する。

進学補習や家庭学習支援の実施

大学進学を可能とする進学補習や模擬試験受験指導を実施するとともに、スタディサプリによる学習を支援することによって、一般入試に対応できる基礎学力を身に付け、進路希望を実現する。

キャリアについて知り考える機会の充実

ガイダンスの充実と地元企業説明会や大学授業体験等によって、職業や大学での学びについて好奇心を高め、キャリアビジョンを明確化して挑戦力を高める。

<自主・自立の支援>～人権を尊重した支援によって大人への成長を～

人権尊重の風土の醸成

互いの人権を尊重する風土を醸成することによって、主体的に人権について学び、豊かな人権感覚と相互扶助の精神、判断力、受容力を培う。特に1年生の学校生活に関する初期指導に注力する。

生徒会活動への支援

生徒会活動が自主的・自立的なものになるよう支援することによって、健全な学校生活の在り方を考え、より良く成長・発達していくための思考力、判断力、受容力、自己指導力を高める。

主体的な活動を支援

学校内外での主体的活動を支援することによって、地域とともに学校行事や課外活動に取り組み、好奇心、協創力、自己有用感を高め、地域から愛され応援される存在になる。

<学校生活の支援>～異なる文化や価値観への理解と尊重に基づく共生を～

共生できる風土の醸成

ホームルームにおいて、互いに異なる文化や価値観を理解し尊重し合うことを大切にする風土を醸成することによって、判断力、受容力を身に付け、安心・安全な学校生活を実現する。

挑戦する風土の醸成

希望による国内外フィールドワーク、学校行事、海外研修、部活動などにおいて、新しいことに挑戦するよう促すことによって、好奇心や挑戦力を高める。

成長志向の風土の醸成

キャリアを展望し、高い目標を持ってそれを実現しようとする風土を醸成することによって、互いに切磋琢磨して学習し、基礎学力と思考力、挑戦力を高め、進路希望を実現する。

新しい学校づくりへの参画支援

新しい学校の学びを先取りできる環境を整えることによって、NISEKO World VillageやStarsUP等に参画し、好奇心、思考力、協創力、発信力、挑戦力と学校への誇りや思い入れを高める。

地域とかかわる活動の支援

地域とかかわる活動へ積極的に参加するよう促すことによって、ニセコ町への興味・関心を高め、地域の特色や課題を発見し、より良い地域づくりについて考える思考力や協創力を身に付ける。

特色ある学びの支援の重点目標

【国際教育】～ NISEKO World Villageを中核に異文化理解と多言語能力の向上を～

・ NISEKO World Village

様々なイベントで異文化を体験したり日常的に外国語でコミュニケーションしたりできることによって、自然に外国語を話し、世界の多様な文化や言語に対する好奇心、受容力、発信力を高める。また、日本、北海道、ニセコについて学び、それらを連携大学との交流などを通じて世界と繋げることによって、国際交流に必要な思考力、協創力、発信力を高める。

・ マレーシア研修旅行

2年次の課題研究「マレーシア学」やNISEKO World Villageでマレーシアについて学べるようにすることによって、マレーシアYTLホテルカレッジとの交流に対する好奇心、思考力、協創力、受容力、発信力、挑戦力を高める。

・ 外国人生徒や留学生のサポート

日本語支援コーディネーターが学習や生活に関するサポートを実施することによって、日本語を母語としない生徒や留学生が、学習内容の理解を深め、日本の生活や文化に対する好奇心や受容力を高める。

・ 地域の英語教育・国際理解の拠点

ニセコスタイルの教育「英語スタイル」の拠点として、NISEKO World Villageの生徒とスタッフが、幼児センターの「英語タイム」、地域の児童・生徒が参加できるイベントや地域の大人との交流等を企画・実施することによって、好奇心、思考力、判断力、協創力、受容力、発信力、挑戦力を高める。

【起業家教育】～DXによるデザイン思考と新結合で新たな価値の創造を～

・ 「ビジネス基礎」(1年次)

台中科技大学で現地学生とともにフィールドワークを実施するとともに、大学・台湾企業と連携したデータやAIを活用する学習プログラムを実施することによって、好奇心、挑戦力を高める。

・ 「農業と環境」(1年次)

地域の企業や人と関わる校外活動を実施することによって、ニセコ町の特色や課題について知る。また、小樽商科大学と連携したデータやAIを活用したグループ探究を実施することによって、好奇心、協創力、データや生成AIの活用に関する基礎的なリテラシーを高める。

・ 「課題研究」(2年次)

地域の企業や人、小樽商科大学と連携して、データやAIを活用して地域課題を解決する個人探究を実施することによって、思考力、判断力、発信力、データや生成AIの活用に関する基礎的なリテラシーを高める。また、海外研修の事前・事後学習「マレーシア学」を実施することによって、世界とニセコ町とのつながりを意識しながら、グローバル人材として必要な異文化への受容力を身に付ける。

・ 「課題研究」(3年次)

これまでの探究の成果をまとめ、積極的に発表・発信する機会を設けることによって、発信力、データや生成AIの活用に関する基礎的なリテラシーを高める。また、探究の成果を総合型選抜や推薦型選抜に生かして思考力、発信力、挑戦力を高め、進路希望を実現する

○StarsUP (学校公認の課外活動)

- ・ 「世の中を良くする何か」に関して、大人と協働しながら①自己の研鑽となる活動(非利益)②社会的利益となる活動(非営利)③自己の利益を得る活動のいずれかあるいは複数の組み合わせからなる活動を行うものとする。
- ・ 学校公認の生徒の主体的な課外活動サークルであり、生徒の参加は個人によるプロジェクト型とし、プロジェクトの終了をもって活動を終了する。原則として年度末に全員が活動を終了する。
- ・ 最低限の目標は、活動の成果を大学入学試験(総合型・推薦型)や就職試験に活かし、自身のキャリア実現を目指すこととする。最大限の目標は在学中に起業することとする。
- ・ 授業の探究学習との往還により学びを深める内容について、教員による相談や支援を行う。
- ・ 教員が生徒・保護者の課題解決や心情への配慮に対応したり、キャリア実現に活かす支援をしたりできるように、活動内容について担任をはじめとする全ての教員が把握できるようにする。
- ・ 教員の顧問は付けないが、生徒及び支援していただく外部の方の活動を把握し、全ての教員へ情報を共有するとともに、学校として対外的な対応を行う「責任教師(担当教員)」とそれを補助する起業家教育マネージャーを置く。
- ・ 生徒の主体的で個別最適な活動になるように、生徒の要望に応じて地域の事業者や団体の方、教員の協力を得ることができるようになるようにする。